

農林大学校だより

No. 75

令和7年3月17日

東北農林専門職大学
附属農林大学校

〒996-0052 新庄市大字角沢 1366
TEL : 0233 - 22 - 1528
FAX : 0233 - 23 - 3119
HP : <https://tpuaf.ac.jp/college/>

明日の山形の農林業を担う！

附属農林大学校として初めての卒業式 (R7.3.5)



新たなスタートの一年

校長 佐藤 寧

令和6年4月、東北農林専門職大学が開学し、本校はその附属農林大学校として、新校舎で新たなスタートを切りました。新しい環境で、実践的な学びをさらに充実させるため、職員一同、師弟同行の精神のもと熱意を持って教育に取り組んできました。

この一年をふりかえると、令和6年4月11日、新しい木の香りが漂う大講義室で入校式を執り行いました。初々しさが残る39名の新入生が農林業への希望を胸に、新たな学びの第一歩を踏み出しました。

9月には、創立70周年記念式典を開催し、これまでの伝統と多くの卒業生が築いてきた功績を再確認するとともに、本校が今後も地域農業の発展に貢献し続ける使命と責任を強く感じました。

さらに11月には、専門職大学と連携した初めての「農大祭」を開催しました。学生たちが創意工夫を発揮し、地域の方々にも楽しんでいただける大盛況のイベントとなり、本校と地域社会のつながりを一層深める機会となりました。

このような新たな取り組みを進めながらも、本校の根幹である実践的な学びは変わらず継続してきました。その成果として、2年間の学びの集大成となる卒業論文のプロジェクト発表では、2名の学生が全国大会で優秀な成績を収める快挙を成し遂げました。

そして令和7年3月5日に新校舎で初めての卒業式を迎えました。今年の卒業生は、小中高と震災やコロナ禍を乗り越え、多くの困難を経験してきた世代です。そうした背景もあり、父兄の皆様からは「素晴らしい卒業式だった」との感謝の言葉を多くいただきました。

温かい感謝の言葉を胸に、本県農林業を支える人材を育成し、地域に愛される学校づくりに一層励んでまいります。

今年も頑張りました ～農林大生の活躍～

東日本及び全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

令和7年1月15日から17日にかけて、青森県を会場に、東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会が開催されました。本校からは、校内での発表会で選ばれた5名（プロジェクト発表の部に2学年から3名、意見発表部に1学年から2名）が参加しました。

発表に臨んだ学生は、冬休み返上で資料のブラッシュアップや発表練習に取り組み、当日は練習した成果を遺憾なく発揮し、発表を行いました。

発表した内容や姿勢は他県の先生方からも高く評価され、審査の結果、4名（プロジェクト発表の部2名、意見発表部2名）が全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会へ進出することとなりました。



全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会は、2月5日から7日にかけて、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。本校からは、東日本発表会で選出された4名（プロジェクト発表の部2名、意見発表部2名）が参加しました。

全国から集まった大学校生約300人が見守る中、4名とも堂々とした発表を行い、プロジェクト発表（養成課程の部）では、野菜経営学科の秋葉悠良さんが特別賞に、稲作経営学科の吉高新太郎さんが優良賞に選ばれました。また、意見発表の部では、畜産経営学科の深瀬和華さん、果樹経営学科の菊地海良さんが特別賞に選ばれました。



第1回みどり戦略学生チャレンジ 東北ブロック（大学・専門学校の部）

農林水産省は、農業大学校や大学生、高校生等、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、「みどりの食料システム戦略」に基づいた活動を実践する機会として、今年度から「みどり戦略学生チャレンジ」を開催しました。

このチャレンジは、「みどりの食料システム戦略」に基づいた取組（調達、生産、加工・流通、消費に係る取組）の成果を、ポスター形式で提出するもので、全国の9ブロックで地方ブロック大会が行われました。本校からは、東北ブロック大会に「みどりの食料システム戦略」に関連する卒業研究を行った学生14名がエントリーしました。

東北各県から多数の参加がある中、稲作経営学科の熊谷綾花さんと野菜経営学科の牧野倫久さんが、東北ブロック大学・専門学校の部の「準グランプリ」に選ばれ、12名が「みどり戦略チャレンジ賞」を受賞しました。



第5回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」

やまがた食産業クラスター協議会が主催する、「山形ならではの」の加工食品の優良事例を顕彰し、原料として使用される農林水産物の需要拡大、本県農林水産業の発展を図ることを目的とした「山形のうまいもの『ファインフードコンテスト』」に、本校農産加工経営学科2学年から2品出品しました。審査の結果、安部 心彩さんが出品した「おかひじきの佃煮」が審査員特別賞（惣菜部門）を受賞しました。

10月11日には、山形市内において授賞式と受賞商品即売会が開催され、本校学生も参加してコンテスト出品商品などを販売し、県内外の観光客からも好評でした。



大学校の近況

新校舎で盛大に“農大祭”開催

令和6年11月2日、毎年恒例の「農大祭」を開催しました。今回は東北農林専門職大学の学生も企画段階から参加し、専門職大、農林大が一体となつての初めての開催となりました。当日は、小雨が降るあいにくの天候となりましたが、開始前から多くの方々が集まり、開場後も農産物や加工品の販売ブースや、各学科で準備した模擬店には長蛇の列ができ、学生たちが準備した自慢の品々を買い求めていました。

校内では、学生が卒業論文プロジェクトで取り組んだ概要のポスター展示や、大学校の活動を映したYouTubeチャンネルの上映など、学生が日ごろ頑張っている様子を見ていただきました。また、特設ステージでのイベントや、大講義室での軽音部のライブなど、学生とご来場者が一体となり、大いに盛り上がりを見せました。

専門職大学と連携し、また、新しい校舎での初めての開催となったことから苦労した所もありましたが、ご来場者が1,200人を超え、大変盛況な農大祭となりました。



芋煮会&実習林トレッキングを開催



令和6年10月25日、農大市場交流広場において『芋煮会』を開催しました。各学科毎に分担して芋煮の材料準備や下ごしらえを行い、体育委員の学生が中心となって、大鍋で芋煮づくりを行いました。初めて開催する行事のため準備も大変でしたが、みんなで作って秋晴れの空の下で食べる芋煮は最高においしかったようで、みな笑顔でいただきました。

芋煮を食べた後は、8チームに分かれて、大学校内実習林のトレッキングを行いました。1時間程度の山歩きでしたが、林業経営学科の先生方が準備した3つのチェックポイントで、クイズやダーツ、宝探し等を楽しみながら、周辺の動物の生態や植物の植生などの話をお聞きし、身近にある自然と触れ合うことができました。



活躍する先輩を招いての特別講義

大学校では、農林業、食品等の関連分野において県内外で活躍する実践者等の講義を通して、学生の見聞を広げるとともに、キャリア形成に関する意識の醸成を図る「特別講義」を行っています。

令和7年1月14日には、本校の卒業生であり、東京シティ青果株式会社 の野菜第1部・第2部執行役員としてご活躍されている齋藤和幸様から「農林業の担い手に伝えたいこと」と題し、御講義をいただきました。

齋藤様からは、在校時の思い出とともに、卸売青果市場の業務や流通の現状、卸売業者からみた青果物の生産現場や流通の課題、また学生に対する今後の期待など、示唆に富んだお話をいただきました。



農林大学校 YouTube チャンネルでは、学生の日々の活動やイベント等の動画を随時公開しています。

山形農林大学校 YouTube

<https://www.youtube.com/@山形農林大学校/featured>



大学校生活2年間を振り返って

農林大学校に入り、あっという間に2年が経ちました。この2年でかけがえのない仲間に出会いました。稲作経営学科の実習では、阿部先生の元、11人の仲間たちと皆で頑張りました。先生の助けもあり、何とか無事全員卒業までこぎつけることが出来ました！私生活でも、筋トレと美味しい食事で、実に健康な日々を送ることができました。

これから社会人として、礼儀正しく仕事に励んでいきます！

(稲作経営学科 佐藤瑠矢)



私たち果樹経営学科「安藤組」には女子がいなく11人全員男子で華がありませんでしたが、何事も全力でやってきました。実習では、1年時に果樹の栽培技術や各樹種の問題点などを学び、2年時ではより良い果樹を栽培するため卒業論文課題に取り組んできました。

多数の樹種を育てているため長期休みなども実習があって大変でしたが、11人全員で協力してきたので、この仲間を大切にしていきたいです。

(果樹経営学科 荒木 歩)



野菜経営学科は、男子11人、女子3人で学習してきました。1年生の頃は、慣れない寮生活の中、当番制で朝の栽培管理や、野菜の収穫作業を協力して行いました。2年生になると卒論で決めた作物の栽培がはじまり、それぞれ1人で栽培管理を行う中みなで協力し、助け合うこともありました。野菜科で過ごした2年間はとても充実した楽しい時間になりました。

(野菜経営学科 齋藤 樹)



農林大学校での2年間は、とても充実した学校生活だったと思います。卒業論文では「マトリキャリア」の試験に取り組みました。毎日の管理や生育調査など大変なことも多くありましたが、2人という学科人数が少ない中でも協力して成し遂げることができたと思います。

卒業後は農業法人に就職しますが、学んだことや経験を活かして頑張っていきたいです。

(花き経営学科 水口小春)



2年間の農大生活で、牛の飼養管理をより深く、実践的に学ぶことができました。朝昼晩の当番活動では、一日を通した飼養管理を経験し、県外研修や卒論を通して、畜産分野で働く様々な方と交流しました。非農家出身の私にとって実際に牛に触れる授業は知識だけでは養えない貴重な経験であり、今後の糧になると思っています。

(畜産経営学科 佐藤花奈佳)



私は卒業論文でトマトジャムとなすのコンポートを開発しました。自分で製造したものを販売する中で、お客様が購入し、喜んでもらったときに作って良かったとやりがいを感じました。大変なこともありましたが、たくさんの人と出会い、手を貸してもらいながら、楽しく充実した生活を送ることができました。就職先でも農大で学んだことを生かして仕事を頑張っていきたいです。

(農産加工経営学科 猪飼夏海)



2年間の学生生活で、実習や講義において卒業後の就職先で活用可能な知識やスキルを習得することができました。また卒業論文では、森林GISを活用した地図を作成し、木材生産における適地の見える化に挑戦しました。森林GISは初めて使用したため、卒論を進めながらGISのスキルアップを図ることができました。

卒業後は森林組合に就職しますが、森林GISを活用して、学生生活同様、好奇心を大切にしながら業務を遂行していきます。

(林業経営学科 杉本 彩)



**卒業生の
今後のさらなる
活躍を期待
しています**

農林大関係ホームページ・YouTubeを御覧ください

◎ 東北農林専門職大学附属農林大学校ホームページ
<https://tpuaf.ac.jp/college/>

◎ 山形農林大学校 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/@山形農林大学校/featured>

◎ 山形農林大学校同窓会 ホームページ
<http://ynodai.com/>



農林大学校 HP



農林大 YouTube



同窓会 HP